ふじネットワーク

緑あふれる文化のまち 鷹岡

△交通量の多い鷹岡商店街

▶人　　口　　1万3,096人
▶世 帯 数　　3,656世帯
(61年7月1日現在)
▶面　　積　　5.05平方キロメートル

鷹岡地区は、潤井川の東岸、富士南麓の台地上に開けた地区です。富士山の豊富な湧水と昔から大宮街道の中間点にあったこのまちは早くから開けました。

明治時代には、富士製紙第一工場（後の王子製紙、現在の新富士製紙）がこの地区で初めて洋紙の製造を開始し、製紙業勃興の発端となりました。

身延線入山瀬駅の周辺は、商店街とそれを囲むように製紙工場の並ぶ住工混在地域であり、久沢東、西地域は、人口の密集地域となっています。

また、地区の南部は水田、北部は茶栽培の農業地域ですが近年宅地化が進んでいます。

地区の南東から北西にかけては国鉄身延線、国道一三九号線、西富士道路など幹線が横切り、これに沿って旧大宮街道、厚原線など旧来の道路が通る交通量の多い地区です。

また、鷹岡本町地域は、旧鷹岡町の中心街で商店が立ち並んでいます。

このコーナーでは、公民館単位に各地区の話題や人物を紹介します。

あなたの地区でのちょっとしたこぼれ話、出来事、ご意見などありましたらご連絡ください。11月は丘、12月は大渕地区です。連絡先…市内永田町1－100 市広報広聴課☎51－0123 内線2822、締め切りは毎月15日です。

おじゃまします

ボランティアグループ ふたば会

代表　芝川正子さん（久沢西）

「ふたば会」は、地域に福祉の芽を育てているボランティアグループです。代表の芝川さんのお宅におじゃまし、おむつづくりなど活動の様子をうかがいました。

昭和四十五年、広報無線で障害児のボランティア募集を耳にしたのが代表の芝川さん。以来、障害児との交流、寝たきり老人のおむつづくりなどを中心に地道な活動を続けてきました。現在は、鷹岡公民館を会場に、第二・第三水曜日の例会のほか、ボランティアセンターから要請されたことを随時行っています。

会員は十三人。全員が女性で三十代から六十代まで幅広いメンバーです。

会合は福祉の問題から自分の身の回りの話しまでバラエティーにとみ、皆さんとてもきさく。ふたば会は、連帯感の強いのが特徴です。

「私はボランティアですなんて肩ひじをはらず、自分のできる事をできる範囲でやってきました。」と芝川さん。

活動の悩みは、運転手がいないこと。福祉施設は遠方が多いので、バスやタクシーを利用しますが、交通費の負担がばかになりません。「私たちの足になってくれるボランティアはいないかしら」とはメンバー全員の声。我と思わん方ご一報を。

△写真右から川村さん、佐野さん、木村さん、佐野さん、芝川さん、樋上さん